

令和4年度徳島支部事業実施結果 令和5年度の事業展開について

1. 基盤的保険者機能関係

- ・業務グループ P.2
- ・レセプトグループ P.8

2. 戦略的保険者機能関係

- ・保健グループ P.13
- ・企画総務グループ P.21

令和4年度 徳島支部 重点事業 実施結果一覧

※評価は、KPI(重要業績評価指標)の達成度合いを3段階(◎○△)で表示 ◎:完全達成 ○:概ね達成 △:未達成

	項目	評価	頁	担当グループ
基盤的 保険者 機能	1. サービススタンダード達成率	◎	P3	業務 グループ
	2. 現金給付等の申請に係る郵送化率	△	P4	
	3. 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合	◎	P5	
	4. 被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率	◎	P6	
	5. 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	◎	P9	レセプト グループ
	6. 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額	◎	P9	
	7. 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	◎	P10	
	8. 返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率	△	P11	
戦略的 保険者 機能	9. 生活習慣病予防健診実施率（40歳以上）	△	P14	保健 グループ
	10. 事業者健診データ取得率	△	P15	
	11. 被扶養者の特定健診実施率	△	P16	
	12. 被保険者の特定保健指導の実施率	△	P17	
	13. 被扶養者の特定保健指導の実施率	◎	P18	
	14. 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	△	P19	企画総務 グループ
	15. ジェネリック医薬品使用割合	△	P22	
	16. 地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信	◎	P23	
	17. 一般競争入札に占める一者応札の割合	△	P24	
	18. 健康宣言事業所数	◎	P25	
	19. 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	◎	P26	

業務グループ 重点事業 実施結果

基盤的保険者機能関係：業務グループ

1. サービススタンダード達成率			
令和4年度 KPI目標	SSの申請書を受付日から10営業日までに支払う 100%		
令和4年度 主な取組	コロナによる傷病手当金申請書が大幅に増加*したが、進捗管理を徹底し毎朝のユニットミーティングで割り振りを行った。 *R4.9~R5.3平均1,900件/月受付（通常の、ほぼ倍）		
令和4年度 結果・課題 (全国比較)	100%（全国1位 全国平均99.99%）	最終 評価	◎
	進捗管理を徹底し目標達成。令和5年1月よりシステム刷新があり、自動審査で決定するもの・人が確認して決定するものに分かれる。人が行う「確認業務」は多岐にわたるため、レベルアップが必要。		
令和5年度 KPI目標	SSの申請書を受付日から10営業日までに支払う 100%		
令和5年度 課題解決の ための取組	進捗管理を徹底し、確認業務のレベルアップを図る。KPIはもちろんのこと、書類不備で返戻する場合も早期に処理を行う。また、記入不備を減らすよう広報を行い、本部へも申請書の改善を検討・提案する。		
参考 過去実績 全国比較	令和3年度 支部：100% 全国1位- 全国：99.9%		
	令和2年度 支部：100% 全国1位- 全国：99.5%		
	令和元年度 支部：100% 全国1位- 全国：99.9%		
	平成30年度 支部：100% 全国1位- 全国：99.9%		
評議員の皆様へ、 ご意見・ご協力頂きたい ポイント	令和5年1月から新様式に変更になっています。傷病手当金や出産手当金など、事業主証明欄も大幅に変更しています。特に、請求期間中の「報酬の受取りの有無」について、ご本人様の申請内容と事業主様証明内容が相違しているケース、また事業主様証明の「年月」記載もれなどで申請書をお返すケースが多いため、ご注意ください。		

基盤的保険者機能関係：業務グループ

2.現金給付等の申請に係る郵送化率			
令和4年度 KPI目標	現金給付等の申請に係る郵送化率を95.5%以上とする		
令和4年度 主な取組	退職者が増える時期（12月・3月）に合わせ、退職者が多い事業所と自治体の国民健康保険担当部署へ任継申請セット（任意継続資格取得申出書・料率表・返信用封筒）を送付し、退職後の健康保険加入案内をお願いするとともに郵送提出を求めた。電話等でコロナ感染防止の観点から申請書の郵送案内を行った。		
令和4年度 結果・課題 (全国比較)	91.9%（全国41位 全国平均95.7%）	最終 評価	△
	令和4年9月支部移転に伴い、公共交通機関の利便性と契約駐車場がなくなったことにより郵送化率は上がったが目標は達成できなかった。		
令和5年度 KPI目標	現金給付等の申請に係る郵送化率を96.0%以上とする		
令和5年度 課題解決の ための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・任継申請セットを、11月・2月に事業所や自治体へ送付。 ・医療機関への限度額適用認定証申請セット配備を継続しつつ、協力機関の拡大を図る。 ・引き続き電話等で郵送での申請案内を行う。広報誌等で幅広く広報を行う。 ・来訪者へ来訪された理由等のアンケートを行い、対応可能なものは改善を図る。 		
参考 過去実績 全国比較	令和3年度 支部：90.1% 全国43位- 全国：95.7%		
	令和2年度 支部：88.0% 全国45位- 全国：94.8%		
	令和元年度 支部：78.7% 全国46位- 全国：91.1%		
	平成30年度 支部：75.5% 全国46位- 全国：89.3%		
評議員の皆様へ、 ご意見・ご協力頂きたい ポイント	令和5年1月から新様式に変更になっております。郵送化率は給付関係約91%、適用関係約98%。 令和5年10月以降、旧様式では当会での処理ができなくなるため、申請書はお返し、「新」様式での再提出をお願いすることになります。このため、従業員の方が旧様式による事業主証明の求めがありましたら、「新」様式で提出するよう、周知をお願いいたします。		

基盤的保険者機能関係：業務グループ

3.柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合			
令和4年度 KPI目標	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合について対前年度以下(0.52%)とする		
令和4年度 主な取組	施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請件数の500%を目標に患者照会を行った。支部独自のチラシ(正しい柔整のかかり方)を患者照会に入れて送付した。		
令和4年度 結果・課題 (全国比較)	0.47% (全国16位 全国平均0.86%)	最終 評価	◎
	柔整審査委員会で初検日から6ヶ月以上の申請書、初検日から2ヶ月以上経過をして月に20日以上施術のある申請に関する受療先(施術所)への確認を実施し、目標達成。今後は更に面接確認による適正化を進める。		
令和5年度 KPI目標	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合について前年度以下(0.47%)とする		
令和5年度 課題解決の ための取組	4年度取り組みに加え、面接確認の実施スケジュール策定。実行・検証を継続する。		
参考 過去実績 全国比較	令和3年度 支部：0.52% 全国10位- 全国：0.95%		
	令和2年度 支部：0.74% 全国20位- 全国：1.12%		
	令和元年度 支部：0.80% 全国17位- 全国：1.26%		
	平成30年度 支部：0.71% 全国19位- 全国：1.17%		
評議員の皆様へ、 ご意見・ご協力頂きたい ポイント	従業員や家族の方へ、接骨院等での健康保険使用はケガや急性の腰・肩痛に限られており、慢性的な疲労や肩こりは健康保険は適用されないことの周知をお願いします。		

4.被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率			
令和4年度 KPI目標	被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を93.4%以上とする		
令和4年度 主な取組	本部から未提出事業所1,578社へ被扶養者状況確認リストを送付前に、支部から提出依頼文書を送付。被扶養者状況確認リストの到着1週間後から電話勧奨を行ったところ、全国平均以上の提出があった。		
令和4年度 結果・課題 (全国比較)	94.1% (全国10位 全国平均92.2%)	最終 評価	◎
	事前の提出依頼文書、到着後間を明けずの電話勧奨を行った結果大きく目標を上回った。一方で、当該確認をもって「扶養解除」となった割合は、1.5% (全国平均：1.2%)		
令和5年度 KPI目標	被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を94.0%以上とする		
令和5年度 課題解決の ための取組	前年度同様、事前の提出依頼文書、到着後間を明けずの電話勧奨の実施。		
参考 過去実績 全国比較	令和3年度 支部：92.3% 全国24位-	全国：91.2%	
	令和2年度 支部：92.4% 全国21位-	全国：91.3%	
	令和元年度 支部：91.2% 全国34位-	全国：91.3%	
	平成30年度 支部：89.3% 全国20位-	全国：88.0%	
評議員の皆様へ、 ご意見・ご協力頂きたい ポイント	令和3年度から、住民票情報を活用し、確認リストへ要同居・別居等の表示をし、詳細な確認作業をお願いしております。引き続き、今年度もよろしくお願いたします。 なお、削除率が全国平均より高い傾向にありますので、異動の事実が発生した場合、その都度、被扶養者異動届の提出をお願いいたします。		

業務グループ：事業総評と今後の事業課題

- ・ 令和4年度KPIは、3/4達成できた。（昨年度：2/4）
新たに達成できた「被扶養者資格再確認の提出率」は、支部による早期勧奨が功を奏したため、5年度も継続する。
- ・ 新システム稼働の前提である「新様式」への切り替えは一定進み、給付決定の効率化・スピードアップ効果は出ている。
- ・ 令和5年1月より、給付金や健康保険証再交付等を含む全ての申請書を変更したことによる「記入不備・書類返戻」を減らすための、広報による呼びかけ、申請書様式の変更提案を行う必要がある。
- ・ 協会へ来訪されるお客様の利便性向上に向け、アンケートを実施し改善を図る。

レセプトグループ 重点事業 実施結果

基盤的保険者機能関係：レセプトグループ

5. 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率

6. 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額

令和4年度 KPI目標	①社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率（※）について前年度以上（0.259%）とする （※）査定率＝レセプト点検により査定（減額）した額÷協会けんぽの医療費総額 ②協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度以上（5,114円）とする		
令和4年度 主な取組	・他支部の自動点検結果データを分析し、点検効果が高いと思われる事例をもとに自動点検の強化を図った。 ・点検員のスキルアップを目的に各種研修会へ参加。（8月、10月、12月）また、支部独自で経験の浅い点検員の点検効果額アップが期待できる入院レセプトに特化した勉強会を2月、3月実施。 ・支払基金での審査傾向等の情報交換を毎月実施。また、原審判定で疑義の出たレセプトについて、再協議することにより査定となった例もあり、引き続き基金と協議する。		
令和4年度 結果・課題 (全国比較)	① 0.273% (40位) 全国平均…0.337% ② 5,331円 (38位) 全国平均…7,125円	最終 評価	◎
令和5年度 KPI目標	① 査定率…0.273%(対前年度)以上 ② 査定額…5,331円(対前年度)以上		
令和5年度 課題解決の ための取組	・進捗管理の徹底、点検員のスキルアップ、自動点検の強化、支払基金との連携を図ることで、査定率・査定金額の向上を目指す。 ・外部講師による研修会の開催、本部主催研修会へ参加していく。		
参考 過去実績 全国比較	①査定率		②査定額
	令和3年度	支部実績…0.259%(38位) 全国平均…0.332%	支部実績…5,114円(34位) 全国平均…6,330円
	令和2年度	支部実績…0.287%(30位) 全国平均…0.318%	支部実績…6,097円(13位) 全国平均…5,377円
	令和元年度	支部実績…0.287%(32位) 全国平均…0.362%	支部実績…4,557円(23位) 全国平均…4,729円
	平成30年度	支部実績…0.328%(29位) 全国平均…0.383%	支部実績…4,176円(19位) 全国平均…4,138円

基盤的保険者機能関係：レセプトグループ

7.日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率

令和4年度 KPI目標	日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上（91.11%）とする		
令和4年度 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・文書による回収催告及び電話番号判明者への電話勧奨を全件実施した。 ・本部から提供される「保険証未回収事業所データ」を活用し、文書により事業所へ保険証回収の協力要請を行った。 9月…43事業所、3月…41事業所 		
令和4年度 結果・課題 (全国比較)	91.99%(14位) 全国平均…86.27%	最終 評価	◎
	保険証の回収にかかる催告・架電を確実に実施したことにより達成した。 保険証回収の広報を行う余地があることから、次年度は取り組みを強化する。		
令和5年度 KPI目標	保険証回収率…91.99%(対前年度)以上とする		
令和5年度 課題解決の ための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・文書・電話回収催告の確実な実施、年度末の資格喪失者発生前に「保険証未回収事業所データ」を活用した、事業所への協力要請等を実施する。 ・協会けんぽの広報手段を積極活用し、退職時の保険証の回収についてアナウンスを実施する。 		
参考 過去実績 全国比較	令和3年度	支部実績…91.11%(13位)	全国平均…92.41%
	令和2年度	支部実績…95.68%(7位)	全国平均…92.41%
	令和元年度	支部実績…94.57%(24位)	全国平均…93.04% *元年度のみ、4～1月(10か月)分
	平成30年度	支部実績…93.48%(27位)	全国平均…91.57%

評議員の皆様にご意見または、ご協力頂きたいポイント

保険証・マイナンバーの一体法案が成立しました(施行日は政令により定められる)。これに伴い、移行時に各事業所において保険証の回収業務が発生することが想定されます。この場合において、協会けんぽが各事業所に情報提供を行うとした場合、どのような情報があると回収がスムーズにいかご意見を賜りたい。

基盤的保険者機能関係：レセプトグループ

8.返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率

令和4年度 KPI目標	返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上（81.48%）とする		
令和4年度 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・返納金の振替調整として保険者間調整を積極的に活用。回収率の向上に努めた。(70件_5,899,398円) ・高額債務者に対し、初回催告時に電話勧奨を実施。(84件架電、46件接触、39件納付約束_3,157,831円) ・催告後に納入がない者に対し弁護士名催告実施。(毎月16件) ・返納金が高額な者に対し法的手続きを実施。(4件実施、うち分割納付2件_70,000円、1件_不送達、1件_時効償却) ・住所不明者に対し、市町村等への住所照会を行うことによる追跡調査の実施。 		
令和4年度 結果・課題 (全国比較)	68.52%(14位) 中央値…64.44%	最終 評価	△
	保険者間調整の推進、弁護士催告・法的手続き等を実施してきたが、昨年実績には至らなかった。しかしながら、全国順位は14位と上位であり、令和5年度においては、さらなる実績向上を目指したい。		
令和5年度 KPI目標	債権回収率…68.52%(対前年度)以上とする		
令和5年度 課題解決の ための取組	債権の納付期限および納付約束期日の管理を徹底し、確実な回収へつなげるとともに、保険者間調整の積極的な実施及び費用対効果を踏まえた法的手続きの実施により、返納金債権の回収率の向上を図る。		
参考 過去実績 全国比較	令和3年度	支部実績…81.48%(4位)	中央値…63.48%
	令和2年度	支部実績…49.60%(41位)	中央値…62.10%
	令和元年度	支部実績…65.21%(19位)	中央値…60.37%
	平成30年度	支部実績…70.21%(14位)	中央値…59.22%

レセプトグループ：事業総評と今後の事業課題

レセプト内容点検について、平成26年以降で最も高い査定額を出しKPIは達成したが、全国平均には及ばなかった。点検員全体の更なるスキルアップ、点検の効率化を図り査定率・査定額の向上を図る。

保険証の回収について、事業計画に基づく取組みを通して、昨年度実績を上回る事ができた。引き続き、取組みを着実に実施していく。

返納金の回収については、全国順位が14位と上位であることから、保険者間調整の推進、弁護士催告・法的手続き等を着実に実施することで、より効果的な回収を目指す。